

復興から創生へ



伊藤 康志

内部討議資料



<http://seiun.vtown.jp>



3期目の検証 「市民力の結集で笑顔あふれる大崎!!」

プロジェクト①

復興から再生・発展に挑戦するまちづくり!! ~内陸の復興モデルをめざして~

- ①震災復興計画の推進▶災害公営住宅やカントリーエレベーター整備など 16 事業 57 億 5 千万の交付金活用
- ②中心市街地復興まちづくり計画の推進。
 - ・災害に強い新市役所庁舎の建設と周辺整備▶合併特例債を活用した建設(平成 34 年度中供用開始)
 - ・大崎地域広域消防本部・古川消防署の移転(千手寺地区)▶建設スタート(平成 31 年 3 月供用開始)
 - ・緒絶川周辺の景観形成▶歴史的な景観を整備。
- ③災害公営住宅の整備とコミュニティ形成支援▶古川地域 4 力所 120 戸、鹿島台地域 45 戸、田尻地域 5 戸、合計 170 戸を平成 26 年度内に整備。被災者支援相談員を配置。
- ④老朽化した総合支所の建替えと総合支所の活用▶田尻総合支所庁舎建築は基本設計を策定、鳴子総合支所庁舎は基本方針を決定。
- ⑤デジタル防災行政無線の早期整備と補完システムの導入▶災害発生時における緊急情報、気象観測や河川映像情報を提供し、メール配信等の補完システムも運用開始。
- ⑥放射能汚染物の早期処理▶安全かつ迅速な処理方法を調整中。

プロジェクト②

定住と交流! にぎわいのある東北の拠点都市づくり!! ~暮らす人、訪れる人が元気なまち~

- ①高度で先進的な医療を提供する日本一の自治体病院の実現▶全国 1 位を実現。
- ②公共交通システムの充実と新病院までの循環バス運行▶平成 28 年 10 月より運行。
- ③新病院へのアクセス道路の整備▶国道 347 号から穂波地区を連絡する市道南 1 号線整備の推進。国道 347 号線以北は、都市計画街路「稻葉小泉線」を県事業として整備。
- ④夜間急患センターの開設▶平成 27 年 4 月開設
- ⑤新図書館等複合施設の建設▶平成 29 年 7 月開館。
- ⑥旧有備館の復旧▶国指定史跡に復原
- ⑦鹿島台駅周辺整備事業の早期実現▶南の玄関口として整備。
- ⑧常襲冠水地区の解消と雨水排水対策の強化▶古川江外 5 路線等の整備推進。
- ⑨社会全体で支援する子ども・子育て支援事業計画の策定と推進▶平成 27 年 2 月策定、支援体制整備。
- ⑩子ども医療費の助成拡大▶平成 28 年 10 月から入院・通院とも中学 3 年生まで拡大。
- ⑪待機児童ゼロの実現▶大幅減少。
- ⑫松山幼保一元施設の建設▶「あおぞら園」平成 28 年 4 月開園。
- ⑬高齢者福祉と介護保険事業の推進▶平成 28 年度に古川中央と岩出山、29 年度に田尻に各施設が開所。
- ⑭障害者支援施設の整備と支援ネットワークづくり▶共同処理の連絡会議、ネットワーク会議の設立。
- ⑮三本木県有地の早期活用の促進▶6 コース・54 ホールの協会認定コースとして県が全額負担で合意。
- ⑯パークゴルフ場の整備▶平成 31 年 10 月暫定、32 年 4 月全面オープン。
- ⑰長者原スマートインターチェンジの運営 24 時間化▶平成 26 年 12 月実現し、アクセス道工事も着手。
- ⑱主要道路と生活道路の早期整備▶国道 108 号線は花渕山バイパスが開通、その他は促進や要望中。
- ⑲優良住宅の整備、空き家活用等による定住の促進▶上鳴子住宅は平成 29 年度工事着手。鹿島台鈴掛住宅は造成を先行。住宅取得やリフォーム費用の一部助成や定住支援策も実現。

プロジェクト③

産業維新の環境創造都市づくり!! ~大崎ブランドの確立と新産業の創造~

- ①産業振興計画・後期計画の推進▶第 2 次計画を平成 29 年 2 月策定し持続的な産業振興の施策を確立。
- ②地域資源利活用施設事業(カントリーエレベーター建設)の推進▶平成 26 年産米から稼働。
- ③新たな米政策への対応と攻めの農業の推進▶認定新規就農者制度、青年就農給付金の支援策構築。
- ④アグリビジネスの推進▶アグリビジネス創出事業による支援を創設。
- ⑤グリーンエネルギー事業の推進▶フォーラムを開催するなど認識を新たに継承。
- ⑥企業誘致と北原工業団地の整備促進▶アルプス電気の拡張用地として平成 30 年秋の竣工。新工場は地上 3 階建、延床面積 37,000 m²、事業費は約 100 億円、2,000 名が働く場となる。
- ⑦生物の多様性を育む農業国際会議の招致▶平成 26 年 12 月に関係者 750 人が参加して開催。
- ⑧シティプロモーションの推進▶パタ崎さんの積極的な活用でブランド認証の手法を確立。
- ⑨FAO 世界農業遺産システムへの登録推進▶日本農業遺産認定・世界農業遺産認定(東北初)平成 29 年 12 月。
- ⑩観光振興ビジョンの策定と推進▶宮城オルレ(大崎鳴子コース)協定締結。トランシート「四季島」鳴子入り延べ 16 回。おもてなし力・トレンド対応力を重点に事業を展開。
- ⑪森林ビジョンの策定と推進▶大崎森林ビジョンを平成 27 年に策定。

プロジェクト④

話し合う協働のまちづくり!! ~大崎市流地域自治組織の確立~

- ①話し合う協働のまちづくり条例制定に伴う各種施策の充実▶地域自治組織戦略体制整備モデル事業の創設。地域支援コーディネーターの雇用等経費を支援する制度創設。
- ②地区集会所(一時避難所)施設の整備、改修への助成拡充▶新築や改修、掲示板の補助率引き上げ。
- ③市民満足度の向上と一体感の醸成▶市民意識調査の実施。
- ④若者の声を活かした絆でつなぐまちづくり▶移動市長室「おおさき宝探し未来トーク」の開催。
- ⑤若者が集える居場所づくり▶図書館の各研修室や多目的ホールの活用。
- ⑥生涯学習施設の改修促進▶文化会館、市民プールの修善と社会教育施設の耐震化と改修促進。
- ⑦市花、市木、市鳥の制定▶市花「ひまわり」、市木「桜」、市鳥「マガツ」及び市民歌を制定。

4年間のあしあと

- 合併協定項目280項目内275項目の調整を終えました。達成率 98.6%
- 新市建設計画事業112事業うち 着手106事業 進捗率 94.6%
完了 98事業 進捗率 87.5%
- 市の蓄え(財政調整基金)を確実に増やしています。(県内13市中第2位)
平成18年/11億円▶平成22年/33億円▶平成26年/120億円▶平成30年/130億円

公約以外の成果

①平成27年9月11日発生の関東・東北豪雨災害復旧

河川や農業被害の早急な復旧災害救助法による支援、被災者生活再建支援金の支給、激甚災害指定による農地等被害への特別措置、市税等の減免及び返還金、災害廃棄物無料処理を実現。

②「人口ビジョン」と「地方版総合戦略」を策定

国の「まち・ひと・しごと創生法」に基づき、魅力あふれる地方創生を実現するため、基本目標となる4つの柱を掲げ、新規事業の創出や既存事業の拡充・推進により、持続可能な地域社会の実現に向け具体的施策を推進。

③仙台圏や首都圏等からの移住希望者に対し、移住に関する情報提供等を行う「おおさき移住支援センター」、晩婚化などに対処すべく婚活イベントによる出会いの場の提供や婚活講座の開催などによる婚活を支援する「おおさき婚活支援センター」を平成27年9月古川駅前に開設。

④大崎市誕生10周年記念事業の実施

昨年7月に田尻総合体育館で「NHKのど自慢」、8月に古川総合体育館で大相撲・大崎場所を開催、9月には岩出山文化会館において「開運!なんでも鑑定団」のテレビ収録など大崎市を全国にアピール。11月3日の「大崎市誕生10周年記念式典」はテレビで生放送。

⑤ふるさと納税による寄附者に地場産品や伝統工芸品、宿泊ツアー等を提供するサービスを開始

寄附金額 平成27年度: 197,342千円 (9,130件)

平成28年度: 291,368千円 (15,766件)

⑥先人が残した有形の歴史的な施設として、岩出山地域の「内川」が県内初の「世界かんがい施設遺産登録施設」に認定

土木学会から「選奨土木遺産」として「鳴子ダム」が東北地方のダムとして、初の認定。

⑦田尻地域に伝來した「小松寺千手観音座像」が国の重要文化財に指定。脇侍の木造不動明王立像と木造毘沙門天立像もあわせて附けたり指定。

本市の宝である歴史的財産として後世にわたり保存・継承と活用

⑧空家等対策特別措置法を受けた「大崎市空家等の適切な管理及び有効活用の促進に関する条例」を制定

空き家の実態調査の結果を踏まえ、総合的かつ計画的に空き家対策を実施するため空き家等対策計画を策定し、特定空き家対策として除却費用の助成制度を創設。

⑨平成29年度全国高等学校総合体育大会相撲競技大会が鳴子スポーツセンターを会場に開催

魅力ある「おもてなし」で歓迎し大会の感動を市民と分かち合う。



3期目のフォトアルバム



4期目の公約 「真の豊かさ実感都市～笑顔あふれる大崎 !!」

東北新時代への挑戦 !!

- ①合併特例債を活用した「大崎市役所本庁舎」の建設
 - 大崎市役所本庁舎の建設促進(平成34年度中供用開始)
 - 市役所周辺道路の整備
- ②地域バランスを考慮した特色あるまちづくりと施設整備
 - 三本木パークゴルフ場の整備(平成31年10月暫定、32年4月全面オープン)
 - 田尻総合支所庁舎の建設推進(平成32年4月供用開始)
 - 駅東東西線整備事業
 - 鳴子総合支所庁舎の建設推進(平成33年4月供用開始)
 - 鳴子温泉上鳴子住宅の建設推進
 - 大崎東学校給食センター(松山地区)の建設推進(平成33年8月供用開始)
 - 鹿島台鈴掛住宅の建設推進
 - 旧鹿島台第二小学校跡地の有効活用
 - 岩出山小学校統廃合跡地の有効活用
- ③旧市民病院の跡地の積極的な活用(中心市街地の都市基盤整備)
 - 大崎広域消防本部・古川消防署建設の早期完成(平成31年3月供用開始)
 - 仮称「道の駅おおさき」の整備(平成31年3月供用開始)
 - 子育て支援拠点施設の建設推進(平成31年11月供用開始)
 - 古川七日町西地区市街地再開発事業の推進(平成33年4月供用開始)
 - 地域交流センターを併設。中央公民館の移転
- ④新図書館(来楽里ホール)を中心とした知識と情報の拠点づくり
- ⑤地域要望の高い生活道路や通学路の予算確保と整備・維持補修
- ⑥公共交通ネットワークの拡充と循環バスの充実
- ⑦定住自立圏構想(共生ビジョン)の推進
 - 地域をつなぐ主要幹線道路の整備
- ⑨着地型観光の推進と商品開発(各地域と連携した体験型メニューづくり)
- ⑩東京オリンピック・パラリンピックに向けた情報発信
 - 国内・国際都市交流の推進
- ⑫大学と連携協力事業による若者定住

プロジェクト①

連携・醸成・発信 !! ～次世代へつなぐ産業の創造～

- ①世界農業遺産への取り組みを通した地域資源の付加価値化
- ②インバウンド、ニューツーリズムの推進
- ④企業誘致による雇用機会の創出
- ⑥ゆるキャラを活用したシティプロモーションの展開
- ⑧新たな農業政策を踏まえた独自の農業経営対策
- ⑩クマやイノシシの被害を防止する有害鳥獣対策
- ⑫林業基盤の整備と地域材需要拡大の推進
- ⑭産業間、企業間等の連携による産業の創造と創業支援
- ⑯女性が求める雇用の場の確保。男女共同参画
- ③新たな工業団地の整備
- ⑤大崎ブランドの発信
- ⑦ささ結による販売戦略
- ⑨空き店舗の活用と商店街の活性化
- ⑪畜産農家減少対策と経営支援
- ⑬地域産業の次代を担う人材の育成

プロジェクト②

真の豊かさ、実感都市の実現 !!

- ①おおさき市地方創生総合戦略による人口減少対策
- ③日本一の自治体病院による新大崎市民病院改革プランの実現
- ④新市民病院本院へのアクセス道路の整備
- ⑥地域社会と連携した教育環境の整備・充実
- ⑧小中学校が連携した外国語教育活動の推進と学力向上対策
- ⑨いじめの早期発見と早期対応、不登校問題の早期改善
- ⑪産み育てやすい産科医療体制を活用した切れ目のない母親の育児支援
- ⑫新制度となる国民健康保険事業の税水準の統一と円滑な移行
- ⑬健康ポイント制度導入による運動に取り組む環境づくり
- ⑮住み慣れた地域で自分らしく暮らせる地域包括ケアシステムの構築
- ⑯障害福祉計画の見直しと新たな障害児童福祉計画の策定
- ⑰社会教育施設の機能充実と老朽化した施設の計画的な整備促進
- ②安心して暮らせる防災体制の整備
- ⑤子育て支援環境の整備・充実
- ⑦市民の安全を守る生活環境の整備
- ⑩疾病予防対策と各種検診率の向上
- ⑭バイオマス産業都市構想の実現
- ⑯放射性物質汚染廃棄物の早期解決

プロジェクト③

地域を支える自治組織の躍進 !!

- ①話し合う協働のまちづくり条例による住民自治と市民満足度の向上
- ②次世代リーダー育成と戦略モデル事業の充実
- ③指定管理者制度の推進と地域づくり組織への育成支援
- ④NPO法人と連携した市民活動の活発化
- ⑤協働教育の理念による豊かな地域生涯学習社会の実現

プロジェクト④

市政運営の理念

1 安全・安心

市民のだれもが、豊かな自然と共生し、安定した生活基盤の上に、安全で安心な暮らしができるまちづくりを推進します。

2 活力・交流

人・物・情報・文化の交流、地域間や国内・国際交流を通して、活力と元気のあるまちづくりを推進します。

3 自立・協働

市民や地域、各種団体と行政が自主的・自立的に活動できる基盤の確立に向け、それぞれの個人・組織・企業が役割を分担・補完しながら、共に考え、共に歩むまちづくりを推進します。

4 改革・挑戦

市政の経営改善策を明らかにし、新たな道のりを市民との協働により歩み、よりスリムで質の高い効率的な行政運営を実現します。



やすしの政治信条

- い つでもどこでも
- と もに市民と考える
- う やまう心の政治
- や らせてみれば
- す すんに行う
- し んぎ誠実の政治



プロフィール

- ◆昭和24年9月29日生まれ (68才)
小牛田農林高校卒業 (相撲で二度インターハイ出場)
大崎市古川馬放に居住
妻、長男 3人家族
- ◆昭和62年4月宮城県議会議員に初当選
以後5期連続トップ当選
平成17年7月 7日 第33代宮城県議会議長就任
平成18年4月30日 初代大崎市長に初当選
平成22年4月17日 再選
平成26年4月13日 無投票三選
- ◆座右の銘：「耕不儘」耕せども尽きず
- ◆趣味：温泉めぐり、読書、カラオケ
- ◆著書：『東北発 豊かさ探求』『宝の都・大崎の創生』



市民皆様と協働で創るマニフェストに、皆様のご意見・ご提言をお寄せ下さい

やすし応援団、事務所ボランティアを募集しております!!